

中高一貫だより

<編集・発行>
えりも地区連携型
中高一貫教育
推進委員会事務局

えりもの魂を継承せよ!



えりも地区連携型中高一貫教育推進委員長
(北海道えりも高等学校長)
三浦 眞 児

えりも町の皆様には、日頃より、中高一貫教育にご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

えりも町では、小学校における海浜遠足、地元の特産物の食育等、中高一貫教育で百人浜植樹などによるえりも緑化の学習、駒踊り学習による郷土芸能の継承等と、「えりも学」とでもいふべきふるさと学習を行っています。何よりも、日常生活の中で昆布漁の手伝いと学校生活(学習、行事、部活動)を両立させていることで、「えりもの魂」を刻み込んでいます。この春、えりも高校を卒業した生徒のうち、町内に就職したのは町職員の2名を始めとした7名、札幌の専門学校に進学した生徒の中にも、卒業後にえりもに戻って家業を継ぐ決意を持って旅立った卒業生がいました。中高一貫教育の中では、そのような卒業生の話を、えりも中学生全学年とえりも町内の5つの小学校の6年生全員に聞かせています。そんな形で、えりもで生きる若い世代の継承がなされていってほしいと思っています。

えりも町に近接する高校としては、十勝の広尾高校がありますが、この春、広尾高校卒業生のうち、えりも町内に就職した生徒はゼロ名でした。それどころか、道内就職は全て十勝地区で、日高管内すらゼロでした。えりもに生きる青年を育成していく場所として、やはりえりも高校がますます頑張らなければならないなどの思いを一層強くしました。

今年度も、えりもの地で育つ子供たち一人一人の健やかな成長や夢の実現に向けて、中高の教職員一同力を尽くし、取組の充実を図ってまいりますので、皆様のご支援を重ねてお願い申し上げます。

学力向上に向けた取り組み

えりも中学校とえりも高校間で行われている中高一貫教育推進事業では、「えりもの子」達の学力向上を軸として、学校間の授業交流を柱とする種々の取組を行っております。十四年目を迎える今年度はさらに各教科での乗入授業を深化させていきます。また、進路学習や生徒会行事の連携も強めていき、学力だけでなくキャリア能力やコミュニケーション力を養い、総合的な学力向上を図ってまいります。紙面の都合で一部とはなりますが、教科に関してそれぞれの取組の概要を紹介いたします。

【国語部会】今年度は、中高一貫漢字学習が8年目を迎えます。これまでの7年間の取り組みをふまえ、中学校から継続したテキストを用いて漢字学習を行います。また、今年度も高校教員による乗り入れ授業を実施し、中学生の学力テストや高校入試対策を行う予定です。(古谷)

【社会科・地歴公民科部会】今年度も年3回のコンクールを実施し、基礎学力及び学習意欲の向上を図ります。また、中1～高1までの環境教育「百人浜に学ぶ」を通し、環境問題に関する意識向上を目指します。(伊藤(麻))

【数学部会】今年度は高校から週4回中学2年生の授業を担当します。教科書の第2章からは3展開の少人数授業を行い、よりきめ細やかな指導ができます。また、2月には高校教員も含め、5展開での受験対策授業を行います。昨年度のよい結果を継続できるように力を入れていきます。(伊藤)

【理科部会】今年度も課題テスト、小テストで基礎的な計算力、化学式などの定着をはかります。また、環境教育「百人浜に学ぶ」を通して、えりもの自然と環境保護について学びます。中高教員によるチームティーチングの授業も行います。今年度から年度末にかけて高校教員による乗り入れ授業も予定しています。(大竹)

【英語部会】今年度も高校教員が中学2年の授業を週2時間担当し、チームティーチングや少人数指導などを通じて、基礎力の向上を図ります。また、中高合同英検のほか、年度末に中学3年の授業に高校教員の乗り入れを予定しています。(芳賀)

【保健体育部会】今年度も中高生の体力向上を狙いとして、中1から高3まで新体力テストを実施しています。その結果を分析し、課題に応じた体力向上の取り組みを行います。また、高校教員による乗り入れ授業を実施する予定です。(林)

えりも中学校における

中高一貫教育について

中高一貫教育として、今年度のえりも中学校で取り組む内容について、お知らせします。

1 高校教員によるTT授業

(英語科・数学科・体育科)

えりも中学校では、週2回、数学と英語の時間にえりも高校の先生に来ていただいています。TTとして指導してもらうほかにも、高校で学習する内容の話をしてもらうこともあります。

英語・数学については、昨年度から引き続いて2学年に英語科は芳賀泰先生、数学は工藤翔太先生に来ていただいています。

また、体育科においては高校の体育科の先生の協力により、体力テストを実施しています。中高6年間での体力向上をめざすため、本校の生徒の体力の傾向を十分に理解してもらう機会にもなっています。

この他にも3年生の3学期に実施する「乗り入れ授業」では、各教科の先生に来校していただき、高校入学後に学習面などでの課題を抱えないために、中学校の教員とともに授業を実施する予定です。

このように高校教員の乗入れによって、本校生徒の学力の定着をめざした取組を本年度も計画的に実施する予定です。



数学科
工藤翔太 先生



英語科
芳賀 泰 先生

2 環境フィールド学習**(1) 百人浜に学ぶ講演会**

6月12日(月)5・6時間目に日高南部森林管理署えりも治山事業所治山技術官の瓜田元美氏を講師に招き、百人浜緑化事業の歴史について学習します。

それに伴い、社会では、えりも緑化と歴史についてNHKの「プロジェクトX」の番組DVDを視聴して、百人浜の歴史的経緯を学習します。また、理科では、環境問題と森林の大切さについての映像を視聴して、森林破壊について学習を深めます。

えりもの未来を担う本校の生徒に、緑化事業の意義や大切さを学んでほしいと毎年企画しているこの学習は、今年度も生徒にとって多くのことを学べる意義のある機会となることと思います。

(2) 百人浜に学ぶフィールド学習A

6月19日(月)、百人浜で植樹を行います。前半は、えりも町林業総合センターでの植樹をする上で土台となる「カミネッコン」を製作し、後半は、百人浜へ行き、「カミネッコン」にシラカバ、カツラなどの苗木を入れて土に埋める作業を行う予定です。今年度は1学年と2学年が参加します。(左の写真は昨年度の様子)



上記の他にも保護者を対象として行われる「えりも高校学校説明会」、全学年を対象として実施する「進路講話」、3年生が対象の「職業別ガイダンス」、また、2年生が対象の「1日体験入学」など、生徒のよりよい成長のために中高一貫教育の良さを十分に生かした教育活動を進めていきます。